

インテル® デスクトップ ボード D845HV / D845WN クイック リファレンス

本書は、デスクトップ ボードの取り付けおよび設定の経験を持つ技術者を対象に作成されています。

はじめに

警告および注意	3
安全性および規制について	3

デスクトップ ボードのコンポーネント

D845HV ボードのコンポーネント	4
D845WN ボードのコンポーネント	6

対応コンポーネント	8
-----------	---

取り付け手順

1 I/O シールドの取り付け	9
2 デスクトップ ボードの取り付け	10
3 ファン ヒートシンク ベースの取り付け	12
4 プロセッサの取り付け	14
5 ファン ヒートシンクの取り付け	14
6 メモリ モジュールの取り付け	15
7 AGP リテンション メカニズムの取り付け	17
8 AGP カードの取り付け	19
9 ファンの接続	20
10 IDE ドライブの接続	21

BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロックの設定	22
-------------------------------	----

インテル® Express Installer CD-ROM の内容

- 製品保証規定
- インテル Express Installer
- *Intel® Desktop Boards D845HV and D845WN Product Guide (英文)*
- ソフトウェア ユティリティおよびドライバ
- ソフトウェア使用許諾契約書
- Readme ファイル

書類番号 : A61046-001J

困ったときには

製品サポート情報は、次のインテル Web サイトで入手できます。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

Web サイトでは、次の情報をご提供しています。

- インテル® デスクトップ ボード D845HV/D845WN 製品技術仕様 (TPS)
- インテル® デスクトップ ボード D845HV/D845WN 仕様アップデート

必要な情報が Web サイトに見つからない場合は、製品購入店にお問い合わせください。インテル Web サイトには、インテル カスタマ サポートの電話番号 (0120-868686) も掲載されています。

Intel Corporation (インテル) は、本書の記載内容(特定の目的に対する商品性および適合性に関する暗黙的な保証などを含みますが、これらに限定されるものではありません)に関して、いかなる保証も行わないものとします。また、本書記載内容の誤りに対して責任を負うものでもありません。インテルは、本書に含まれる情報の更新、および最新情報の提供を確約するものではありません。インテルの書面による事前の承認なしに、どのような形式または方法によっても、本書の全部または一部を複製または複製することはできません。

インテル® 製品は、その関連マニュアルに従って使用した場合、「2000 年対応」です。「2000 年対応」とは、その製品をインストールしたとき、うるう年の計算を含めて、20 世紀から 21 世紀に移行する際の日付データを正しく保存、表示、処理、提供、および/または受け取ることです。ただし、これは、インテル製品を他の技術と組み合わせ使用した場合、それらの全ての技術がその製品と日付データを正しく交換することを条件としています。

† サードパーティのブランドおよび商標は、それぞれのサードパーティが所有します。

Copyright© 2000, 2001, Intel Corporation. All rights reserved.

はじめに

警告および注意



WARNING

ケーブルを接続または取り外し、ボードのコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う際には、作業の前に必ず AC 電源からボードの電源を取り外してください。電源を入れたまま作業を行うと、ケガや、機器が損傷の原因となる可能性があります。デスクトップ ボードの回路によっては、フロント パネルの電源スイッチがオフになっても動作するものがあります。



CAUTION

静電気放電 (ESD) は、デスクトップ ボードのコンポーネント損傷の原因となります。静電気対策の施された作業場で、ボードの取り付けを行ってください。静電気対策の施された作業場がない場合は、帯電防止用リストストラップを着用するか、作業を行う前に、帯電防止用パッケージの表面に触れるようにしてください。

安全性および規制について：

D845HV / D845WN デスクトップ ボードに適用される規制準拠に関する文書、製品認証マーク、安全性および電磁適合性 (EMC) の規格および規制については、「Intel® Desktop Boards D845HV and D845WN Product Guide(英文)」を参照してください。

バッテリー交換に関する警告ラベル：ラベルは、シャーシ内部のバッテリー近くの見えやすい場所に貼ってください。ただし、ボード自体には貼らないでください。

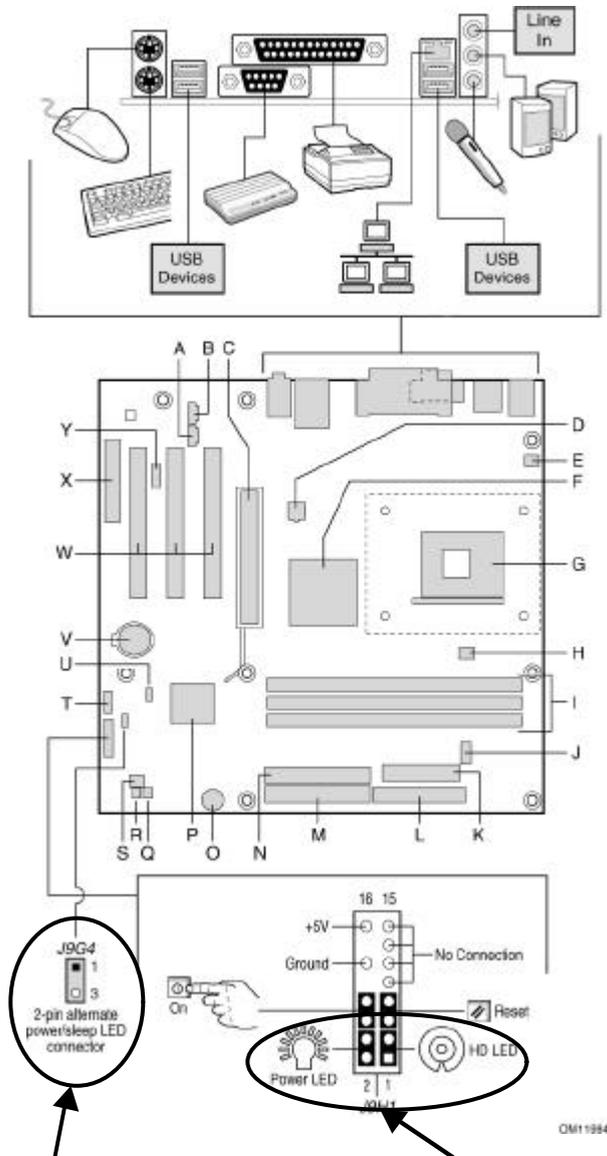
使用目的：本製品は、家庭用またはオフィス用情報技術機器 (I.T.E) として、適切なコンピュータ シャーシにインストールされた場合に対して評価されています。その他の使用目的に関しては、別途評価が必要です。



NOTES

特に示されていない場合は、説明には D845HV ボードの図が使用されています。

デスクトップ ボードのコンポーネント D845HV ボードのコンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。
筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中の2pin ALT. (AUX) Power LED / Sleep コネクタを uses。

続く

D845HV ボードのコンポーネント (続き)

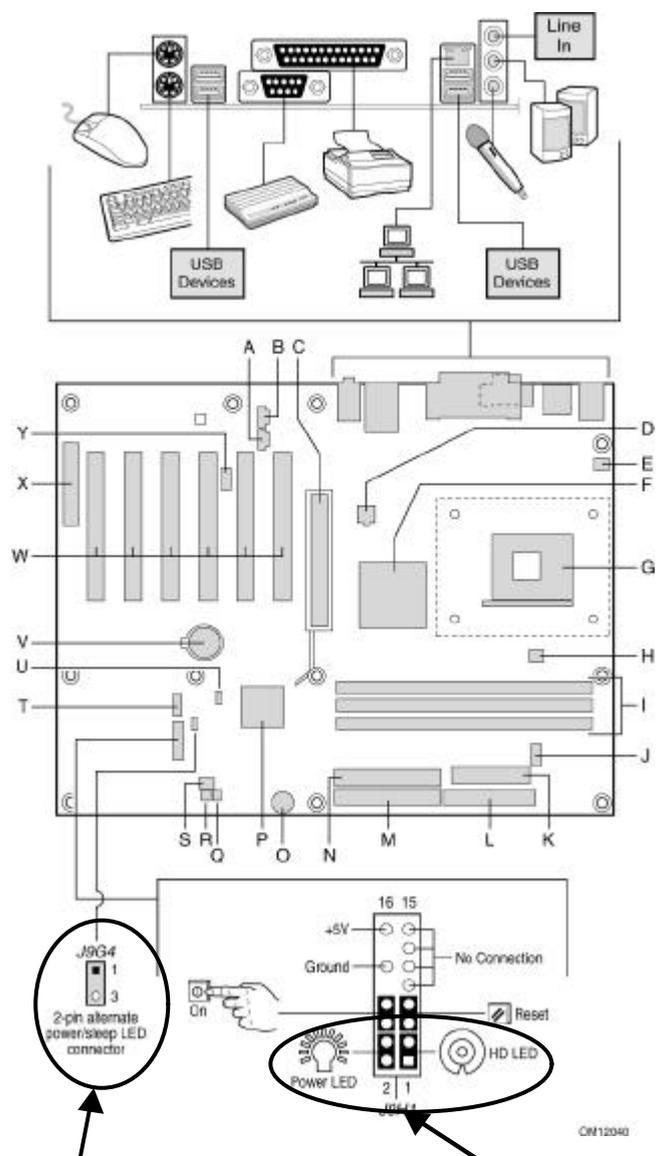
- | | |
|--------------------------------------|---|
| A CD-ROM コネクタ (ATAPI) | M プライマリ IDE コネクタ |
| B 予備入力コネクタ (ATAPI) | N セカンダリ IDE コネクタ |
| C AGP コネクタ (1.5 V 仕様) | O スピーカ |
| D 12 V プロセッサ電圧コネクタ | P インテル® 82801BA I/O コントローラ ハブ (ICH2) |
| E リア シャーシ ファン コネクタ
(ファン回転検知機能付) | Q SCSIハード ドライブ Activity LED コネクタ |
| F インテル® 82845 メモリ コントローラ ハブ
(MCH) | R シャーシ挿入コネクタ |
| G プロセッサ ソケット | S シャーシ前面ファン コネクタ |
| H プロセッサ ファン コネクタ
(ファン回転検知機能付) | T フロント パネル USB コネクタ |
| I DIMM ソケット | U BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロック |
| J シリアル ポート B コネクタ | V バッテリ |
| K 電源コネクタ | W PCIバス アドイン カード コネクタ |
| L フロッピ ディスク ドライブ コネクタ | X Communication and Networking Riser (CNR)
(オプション) |
| | Y フロント パネル オーディオ コネクタ |



CAUTION

ボードおよびフロント パネルに配置されたコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

D845WN ボードのコンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。

筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中の2pin ALT. (AUX) Power LED / Sleep コネクタを用品。

D845WN ボードのコンポーネント (続き)

- | | |
|--|---|
| A CD-ROM コネクタ (ATAPI) | M プライマリ IDE コネクタ |
| B 予備入力コネクタ (ATAPI) | N セカンダリ IDE コネクタ |
| C AGP コネクタ (1.5 V 仕様) | O スピーカ |
| D 12 V プロセッサ電圧コネクタ | P インテル 82801BA I/O コントローラ ハブ (ICH2) |
| E シャーシ後部ファン コネクタ
(ファン回転検知機能付) | Q SCSI ハード ドライブ Activity LED コネクタ |
| F インテル® 82845 メモリ コントローラ ハブ
(MCH) | R シャーシ挿入コネクタ |
| G プロセッサ ソケット | S シャーシ前面ファン コネクタ |
| H プロセッサ ファン コネクタ
(ファン回転検知機能付) | T フロント パネル USB コネクタ |
| I DIMM ソケット | U BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロック |
| J シリアル ポート B コネクタ | V バッテリ |
| K 電源コネクタ | W PCI バス アドイン カード コネクタ |
| L フロッピ ディスク ドライブ コネクタ | X Communication and Networking Riser (CNR)
(オプション) |
| | Y フロント パネル オーディオ コネクタ |



CAUTION

ボードおよびフロント パネルに配置されたコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

対応コンポーネント

プロセッサ



CAUTION

ATX12V 電源を使用しなかったり、補助電源 (12V プロセッサ電源コネクタ等) の配線を D845HV または D845WN ボードにつながなかったりした場合は、デスクトップボードが損傷する可能性があります。

ATX12V 電源についての詳細は、CD-ROM の「Intel® Desktop Boards D845HV and D845WN Product Guide (英文)」を参照してください。

以下のプロセッサをサポートしています。

プロセッサ タイプ	プロセッサ周波数	システム バス周波数
インテル® Pentium 4 プロセッサ mPGA- 478pin パッケージ	1.4、1.5、1.6、1.7、1.8、1.9、 2.0 GHz、および将来製品 (予定)	400 MHz

D845HV/D845WN ボードがサポートするプロセッサの最新情報については、次のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

メモリ モジュール必要条件

ボードは、次に示すシステム メモリをサポートしています。

- 最大 3 つの金メッキ 168 ピン SDRAM Dual Inline Memory Modules (DIMM)
- PC133 SDRAM のみ
- 64、128、256 メガビット テクノロジを使用したメモリ構成
 - 32 MB ~ 384 MB (64 メガビット テクノロジ)
 - 最大 768 MB (128 メガビット テクノロジ)
 - 最大 1.5 GB (256 メガビット テクノロジ)



NOTES

D845HV および D845WN デスクトップ ボードは、512 メガビット テクノロジを使用した DIMM で、最大 3GB までサポートできるように設計されていますが、検証は行われていません。テスト済みメモリの最新情報については、以下のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

- バッファなし (unbuffered) のシングルサイドまたはダブルサイド DIMM
- SPD (Serial Presence Detect) メモリ
- Non-ECC および ECC DIMM
- 3.3 V メモリのみ



NOTES

デスクトップ ボードで使用されるすべてのメモリコンポーネントおよび DIMM は、PC SDRAM Specification (メモリ コンポーネントのみ) および PC Unbuffered DIMM Specification を含む PC SDRAM 仕様に適合する必要があります。これらの仕様は、次の Intel Web サイトでダウンロードまたは参照できます。
<http://www.intel.com/technology/memory/pcsdram/>

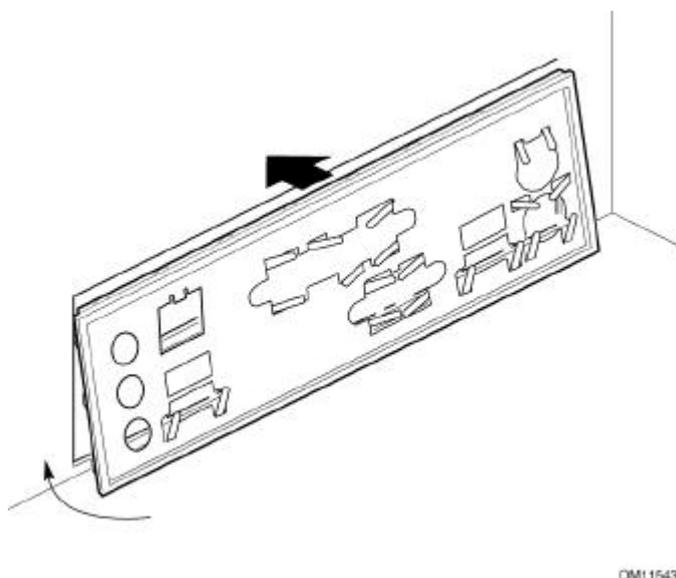
これらのメモリ必要条件をサポートするベンダについては、Intel Web サイトの D845HV または D845WN のリンクを参照してください。
<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

取り付け手順

1 I/O シールドの取り付け

ボードには、I/O シールドが同梱されています。I/O シールドは無線周波数の送波を防ぎます。これは放射電磁波 (EMI) 認証試験を通過するために必須となる条件です。さらに、内部のコンポーネントをゴミや異物から防ぐとともに、シャーシ内部の空気の流れを助けます。

シャーシにボードを取り付ける前に、I/O シールドを設置してください。下図のように、シャーシ内にシールドを設置します。シールドを押して、しっかりと正しい位置に収まるようにします。シールドがうまく収まらない場合は、シャーシの販売業者から適切なサイズのシールドを入手してください。



2 デスクトップ ボードの取り付け



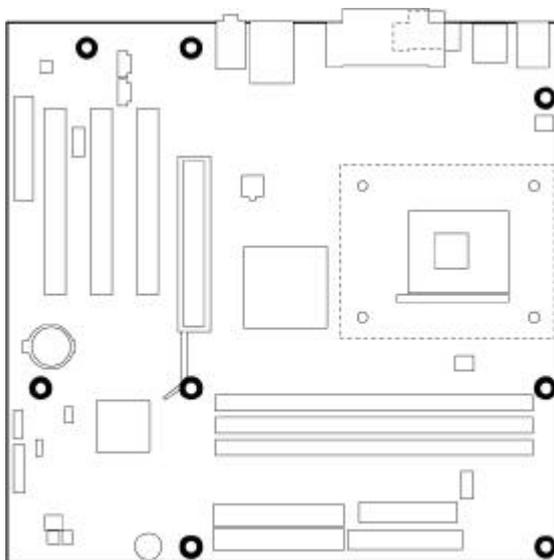
CAUTION

ATX12V 電源を使用しなかったり、補助電源（12V プロセッサ電源等）の配線を D845HV または D845WN ボードにつなげなかった場合は、デスクトップ ボードが損傷する可能性があります。

ATX12V 電源についての詳細は、CD-ROM の「Intel Desktop Boards D845HV and D845WN Product Guide（英文）」を参照してください。

ボードの取り付けおよび取り外し手順の詳細については、シャーシのマニュアルを参照してください。ねじと絶縁ワッシャを用いて、ボードをシャーシにしっかり留め付けます。

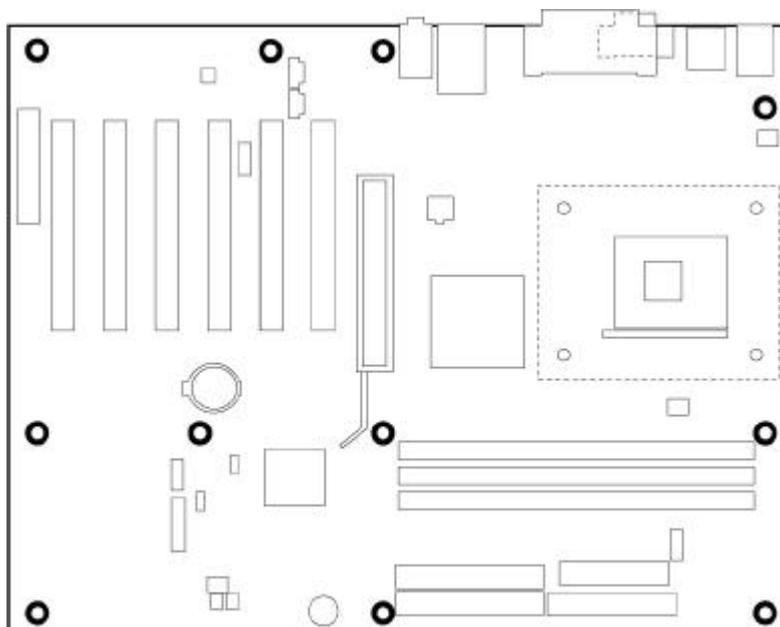
D845HV ボードのねじ取り付け穴（8 個）は、下図の通りです。



OM11982

D845HV ボードの取り付け穴位置

D845WN ボードの取り付け穴（11 個）は、下図の通りです。



DM1208D

D845WN ボードの取り付け穴位置

3 ファン ヒートシンク ベースの取り付け

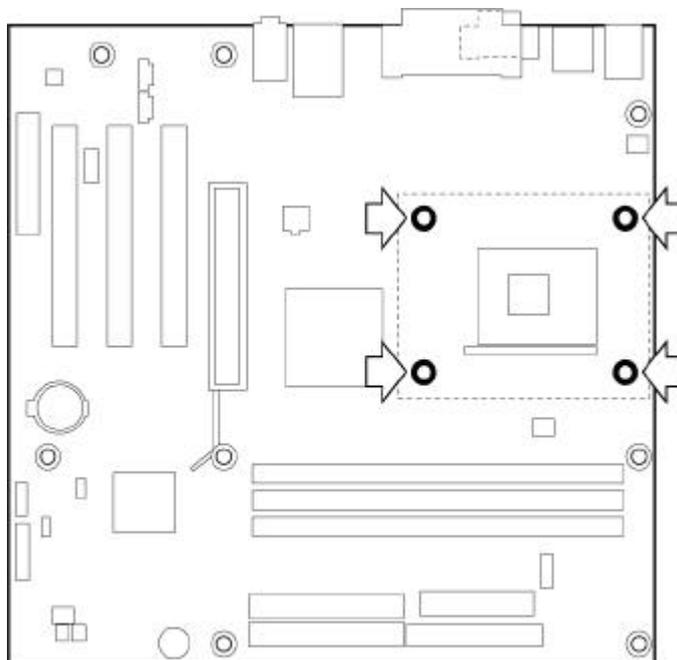


NOTES

以下の作業は、シャーシにデスクトップ ボードを取り付けた後に行ってください。

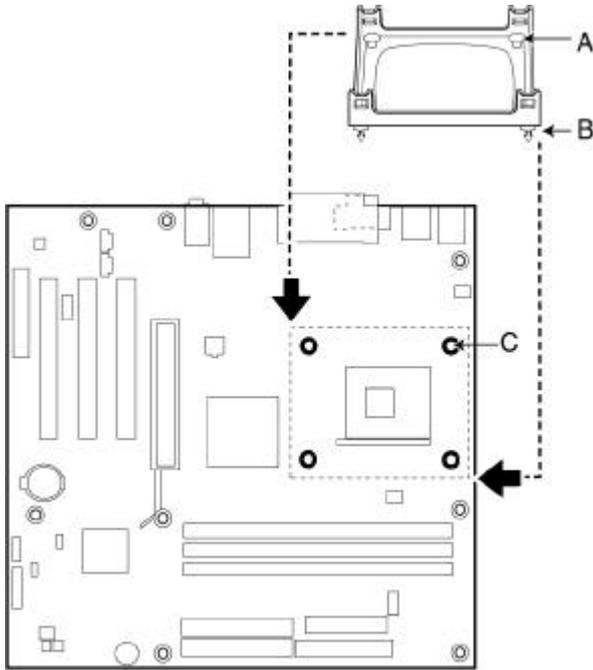
ボードには、ファン ヒートシンク ベースが同梱されています。次の手順に従って、ボードにベースを取り付けてください。

1. 本書3ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. ファン ヒートシンク ベースを、ピン4つを用いてボードに留め付けます。ファン ヒートシンク ベースの取り付け穴は、下図の通りです。



DM11983

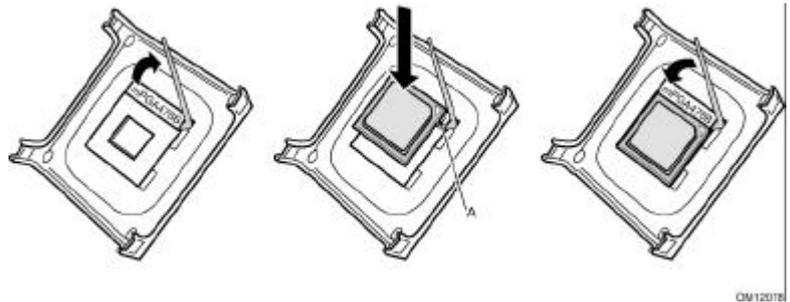
3. ファン ヒートシンクリテンション メカニズム ベースの留め具 (B) を、デスクトップ ボードのそれぞれ対応する穴の位置 (C) に合わせます。4 つの留め具がすべて留まるまで、ベースをゆっくり押し下ろします。留め具がすべて留まっていることを確認したら、固定用のピンを押し、ベースをボードに固定します。



OM12096

4 プロセッサの取り付け

1. 本書3ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. プロセッサ ソケット レバーを持ち上げます。
3. プロセッサの三角形のマーク(A)が付いている角と、ソケットのレバーが付いている角とが合うように、プロセッサを取り付けます。
4. レバーを元に戻します。



5 ファン ヒートシンクの取り付け

ファン ヒートシンクの取り付け手順については、ボックス プロセッサの取扱説明書か、次のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

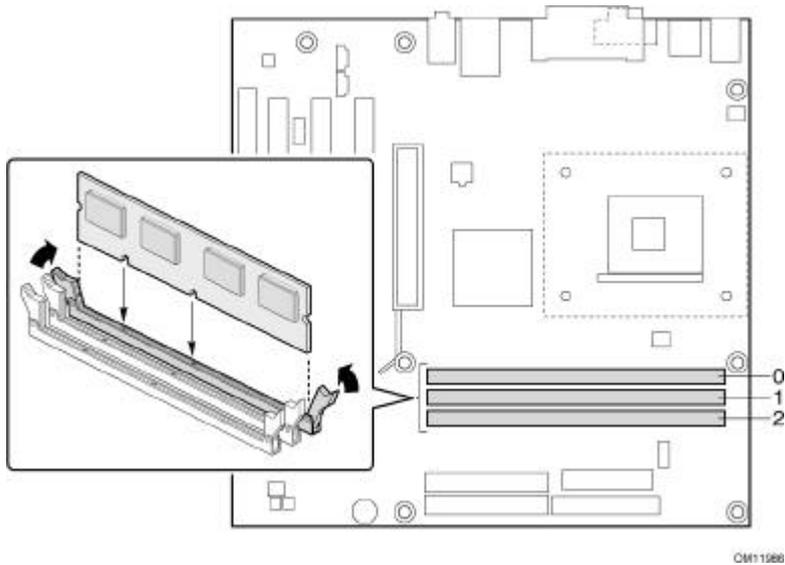
6 メモリ モジュールの取り付け



CAUTION

AGP ビデオカードを取り付ける前に、メモリを DIMM ソケットに装着してください。
(AGP ビデオカードがメモリ装着の妨げになる可能性があります。)

D845HV および D845WN ボードでは、DIMM が装着されます。DIMM ソケット (3 つ) の位置は、下図 (Bank 0、1、2) の通りです。DIMM を 1 つ装着する場合は、Bank 0 に装着します。DIMM を 2 つ装着する場合は、Bank 0 および Bank 1 に装着します。



DIMM を装着するには、以下の手順に従ってください。

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. コンピュータに接続されているすべての周辺機器の電源を切ります。コンピュータの電源を切り、プラグを抜きます。
3. コンピュータのカバーを取り、DIMM ソケットの位置を確認します。
4. DIMM クリップの開閉に邪魔になるようであれば、AGP ビデオ カードを取り去ります。
5. DIMM の端をつかみ、帯電防止袋から取り出します。
6. ソケットの両端にあるクリップが、図のように外されていることを確認します。
7. DIMM をソケットの上に載せます。DIMM 下部の端に付いている 2 つの小さなノッチを、ソケットのキーに合わせます。
8. ソケットに DIMM を挿入します。
9. DIMM を挿入する際は、ソケットのクリップが所定の位置に戻るまで、DIMM 上部を押します。クリップがしっかりと元の位置に戻っていることを確認します。
10. DIMM 取り付け前に AGP カードを取り外した場合は、AGP カードを元の位置に戻します。
11. コンピュータのカバーを元に戻します。

7 AGP リテンション メカニズムの取り付け



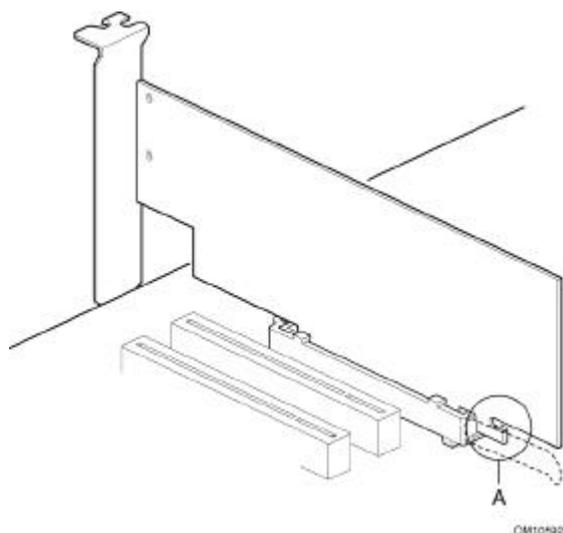
CAUTION

下図に示すようなリテンション ノッチ (A) のある AGP カードを用いるときのみ、AGP リテンション メカニズムを取り付けます。ノッチのないカードにリテンション メカニズムを使用すると、ビデオの動作に損傷を与える可能性があります。リテンション メカニズムの取り外し手順については、インテル *Express Installer CD-ROM* の「Intel® Desktop Boards D845HV and D845WN Product Guide (英文)」を参照してください。



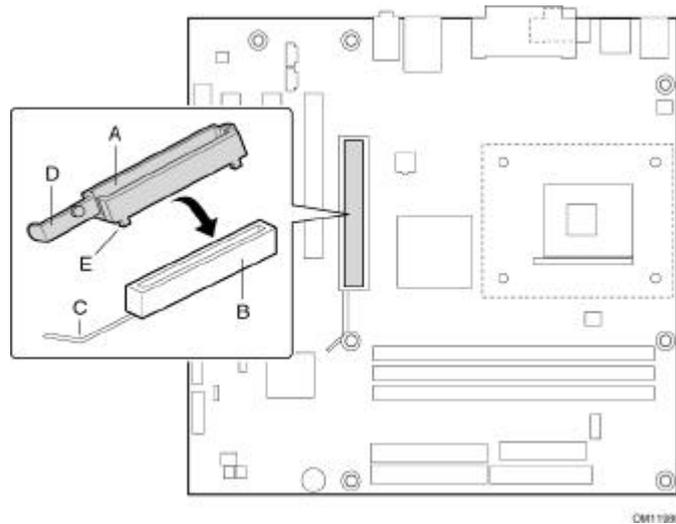
NOTES

D845HV および D845WN ボックス デスクトップ ボードには、AGP リテンション メカニズムが含まれない場合があります。AGP リテンション メカニズムが含まれないボックス デスクトップ ボードの場合は、19 ページの「AGP カードの取り付け」に進んでください。

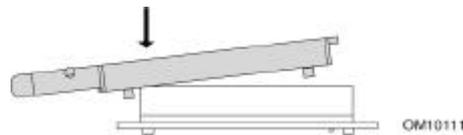


リテンション メカニズムは、ボードの AGP コネクタを取り囲むような形になっていて、AGP カードが安定するようになっています。平らな、安定したものの上に、コンポーネント側を上にしてボードを置きます。以下の手順に従って、リテンション メカニズム (A) を AGP コネクタ (B) に取り付けます。

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. ボード上の AGP コネクタの位置を確認します (下図)。ボードのシルクスクリーン マーク (C) は、リテンション メカニズムのレバー (D) の正しい位置を示しています。



3. 下図のように、リテンション メカニズムを AGP コネクタの位置に合わせます。



4. リテンション メカニズムのレバーを、後方の 2 つのタブ (E) が AGP コネクタの端にかかるまで矢印の方向の押します。



- リテンション メカニズムのもう一方の端を AGP コネクタの反対側の端に入れ、最終的にはリテンション メカニズムの 4 つのタブがすべて AGP コネクタの下に留まるように、均等にリテンション メカニズムを押します。力をかけ過ぎて、ボードを損傷しないように注意してください。



8 AGP カードの取り付け



NOTES

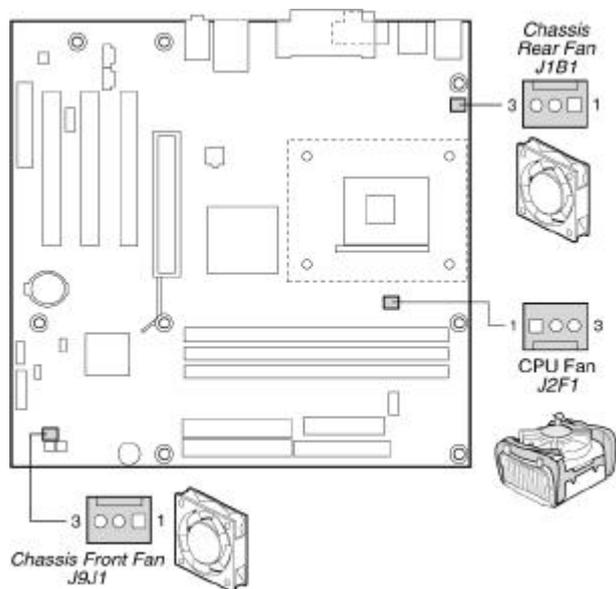
D845HV および D845WN ボードには、1.5 V AGP カードのみが使用できます。

リテンション ノッチが付いている AGP カードの場合は、以下の手順に従ってください。

- 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
- AGP カードを AGP コネクタに挿入します。
- カードがコネクタにしっかりと収まり、リテンション ノッチがリテンション メカニズムのピンの下にはまるまで、カードをコネクタに押し込みます。
- カードの金属製ブラケットを、シャーシのバック パネルにねじで留め付けます。

9 ファンの接続

下図にファンのコネクタの位置を示します。プロセッサ ファン ヒートシンクのケーブルを、ボードのプロセッサファン コネクタに接続します。シャーシ ファンケーブルを、下図のようにボードのコネクタに接続します。



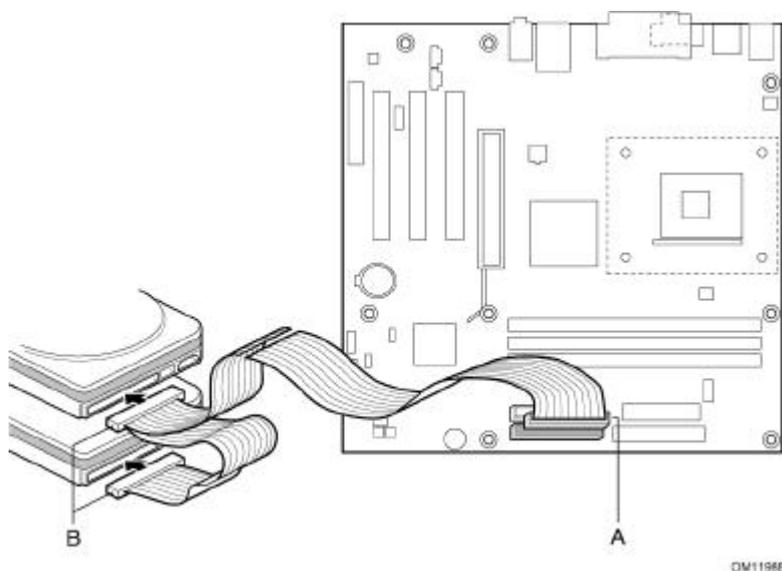
CM11985

10 IDE ドライブの接続

インテル® ボックス デスクトップ ボードには、2本の IDE ケーブルが付属しています。どちらのケーブルも、2つのドライブをボードに接続することができます。ケーブルは、Ultra DMA-33 (40 ピン) または ATA-66/100 (40 ピン、80 コンダクタ) 転送プロトコルをサポートしています。また、これより遅い IDE 転送プロトコルを使用するドライブに対する下位互換性もあります。

ケーブルを正しく機能させるためには、下図のように接続してください。

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. ケーブルのシングル コネクタ (A) をボードに接続します。
3. 2 つに分かれているコネクタ (B) をドライブに接続します。

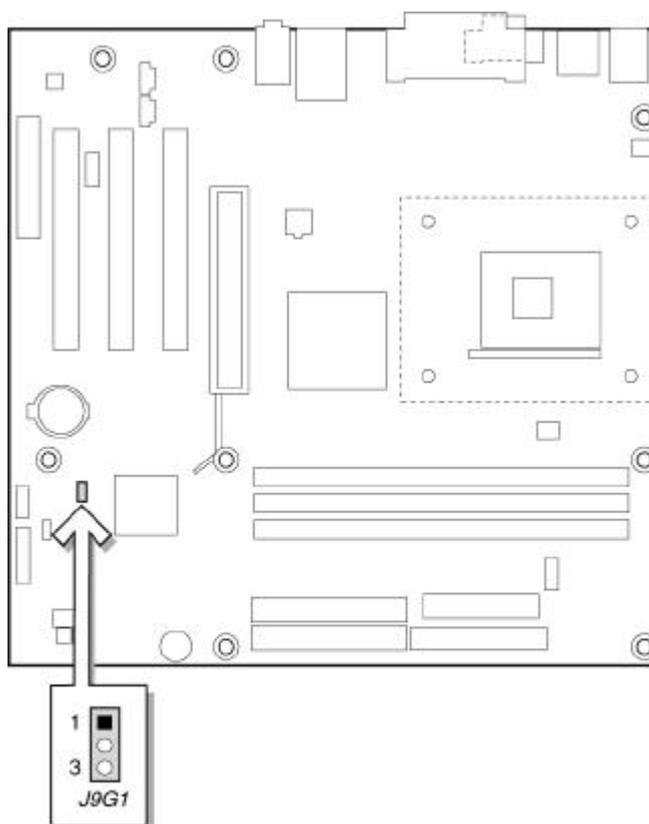


BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロックの設定



CAUTION

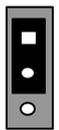
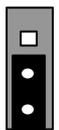
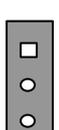
ジャンパ ブロックの設定を変更する前には必ず、電源を切り、コンピュータから電源コードを抜いてください。電源が入ったままでジャンパを変更すると、コンピュータの動作に支障をきたす原因となります。



OM11996

BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロックによって、BIOS Setup プログラムの3つのモードが設定されます。次の表に、BIOS Setup コンフィギュレーション ジャンパ ブロックの設定について示します。

BIOS Setup コンフィギュレーション ジャンパ・ブロック (J9G1) の設定

ジャンパ位置	モード	内容
 1 3	Normal (デフォルト)	BIOS は、現在の設定および起動時のパスワードを使用します (通常使用)。
 1 3	Configure	Power-On Self-Test (POST) の実行後、BIOS は Maintenance Menu を表示しません (OS は起動しません)。CPU の周波数設定、パスワードクリア等でこのモードを使用します。
 1 3	Recovery	BIOS アップデート失敗時に、BIOS を復元させるモードです。画面には何も表示されませんが、スピーカ音で作業確認します。BIOS のアップグレードまたは復旧手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel® Desktop Boards D845HV and D845WN Product Guide (英文)」を参照してください。

BIOS Setup のすべての設定は、CD-ROM、もしくはWeb サイトで確認できます。

- インテル Express Installer CD-ROM の「Intel® Desktop Boards D845HV and 845WN Product Guide (英文)」
- インテル Web サイト
<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>